

グッド・オブ・グッド・ニュース

短い秋です

稲 刈りもほとんど終わり、賑やかだった田んぼは何もない大地に戻りました。また、山々では少しずつですが色彩が変化を始めております。暦はもう 11 月、秋もだいぶ深まってくる時期なのですが、まだまだ昼間の空気は初秋の様です。先月も暖かい日が続いており、秋が本当短くなったなと感じました。それでも北からは紅葉や、高地では雪の便りも聞こえてきます。季節は確実に進んできています。食欲の秋、スポーツの秋、行楽の秋ですが、朝晩の寒暖差も大きい時期ですので皆さん体調管理にはくれぐれもお気をつけ下さい。

さて、そんな秋晴れの天気の良い日には何処かへ出かけたいと思いますが、まあそうでなくても連休であれば、たまには何処かへ出かけようかなと思い、9月に**佐渡ヶ島**へ行く計画を家族で立てていました。「車中泊で愛犬も連れて行こう！」と張り切ってフェリーの予約も取り、各所の下調べもして色々準備をしていたのですが、台風崩れの低気圧の影響で大雨となり、結局行くのを止め前日にフェリーもキャンセルしました。なので、当日は家でゴロゴロと過ごしました。が、ネットで旅行番組を見ていて、比較的近くで目についた観光地に、次の日に家族で急遽行って来ました。残念ながら愛犬は家でお留守番です。

そこは前号の忍野八海と同じく、結構有名な場所なので行った事のある方は多いと思います。場所は栃木県宇都宮市大谷町にある**大谷資料館**で大谷（おおや）石の**地下探掘場跡**です。「**地下 30 メートルに広がる神秘的な巨大地下空間**」です。良くテレビでも紹介されていますし、音楽番組や有名歌手、グループのコンサート、映画・ドラマの撮影などエンターテインメントが多数行われたりしています。佐久からは高速で上信越道～北関東道～東北道で宇都宮 I.C で降りて 10 分程の所にあります。この日も天気が悪かったのですが、**地下なので大丈夫だな**と思っておりました。到着までは 2 時間半ぐらいでした。下道はさほど混んではいないなと思いながら進むと、何と大きな駐車場は満車でした。それでもしばらく待って何とか駐車できましたが、まあ**皆考える事は同じ様**でありました。雨もちょうど止んで蒸し暑くなりました。早速入館です。素掘りの階段を下りたその先は大谷石探掘跡の大空間になっており、暗い中にもライトアップされた場所もあり神秘的な空間になっています。また中はとても涼しい（平均気温 8℃だそう）ので上着が欲しいところです。順路に沿って進んで行きますが、池があったり、階段があったり、またステージになっている所もあります。それにしてもこの大空間、良く掘ったものだなと感心してしまいます。深い所は地下 60m もあるそうで、野球場がすっぽり入る大きさだと言いますが、手掘りの跡も残っていて、昔の人の苦勞も感じられます。大谷石はオヤジの実家の外構にも使われていたので、なぜか懐かしさを感じました。坑内の散策は 1 時間程で回れます。その間娘や奥さんは写真を撮って喜んでおりました。オヤジも数枚撮ってもらいましたが、誰もスマホに写真送ってくれません。

外に出た後、食事をしようと思い、来る途中にあった行列の食堂へ寄ったのですが、営業時間外となってしまい、何組かは入れませんでした。せっかく宇都宮まで来たのでやっぱり**餃子**は外せないですからね。仕方なく道の駅へ寄りました。ここもとても混んでいましたが運良く駐車でき、餃子ではありませんが食事をし、お土産も買って帰ってきました。オヤジが知らないだけですが、近隣近県には見所のある観光スポットが多々ありますので、旅行好きのオヤジは色々見つけてバイクで車と旅行を楽しみたいと思っています。また時間があれば海外へも出かけたいなと思っています。

先日、お客さんからの電話でオヤジに連絡して欲しいと事務員さんから頼まれ、携帯番号をメモして電話したのですがオヤジ、老眼+近眼のくせにメガネを外したままスマホをタッチしたのですがなぜか 4 桁押しただけで繋がってしまいました。あれ？と思っているとそれが **110 番**に繋がっており、「**事件ですか事故ですか？**」と尋ねられ、あ、いや、間違えですと。本当に大丈夫ですかと再度聞かれました。念のためと名前も聞かれ、柳沢です。と答えましたが、気を付けて下さいと。しかしオヤジ焦ってしまいました。メガネをしていなかったせいかとんだ押し間違えです。その時の柳沢はこの私**オヤジライダー**であります。警察の方には大変ご迷惑おかけいたしました。以後老眼オヤジ気を付けます。でも丁寧な対応であり再度聞いてくれるなどとても信頼できる良い感じでありました。

